

書籍・雑誌にも 軽減税率適用を

新聞協会が談話

2016年度税制改正大綱が正式決定したのを受け、日本新聞協会の巨石興一郎会長は16日、次の談話を発表した。



与党の税制改正大綱は、週2回以上の発行で定期購読される新聞を軽減税率の対象とした。新聞は報道、言論によって民主主義を支えるとともに、国民に知識、教養を広く伝える役割を果たしている。このたびの与党合意は、公共財としての新聞の役割を認めたものであり、評価したい。私たちは、この措置に心え、民主主義、文化の発展のために今後も責務を果たしていく所存である。ただ、宅配の新聞に限られ、駅の売店などで買う場合が除かれた点は残念だ。一方書籍や雑誌については引き続き検討されることとなった。多くの主要国は書籍・雑誌も軽減税率の対象としている。新聞協会は知識への課税強化に反対してきた。あらためて書籍・雑誌も軽減税率の対象に含めるよう要望したい。

国内最大級の 太陽光発電稼働 ソフトバンクなど

ソフトバンクグループと三井物産は、北海道安平町に建設した大規模太陽光発電所(メガソーラー)を稼働させた。出力は1万1千キロワットで国内最大級で、一般家庭3万世帯分の消費電力を供給することができるという。6日に現地で稼働式典を

開いた。「ソフトバンク苫東安平ソーラーパーク」は166万平方メートルの敷地に東芝製の太陽光パネル約41万4千枚を敷き詰め、1日に稼働させた。売電収入は年間48億2千万円程度の見通しだ。全量を北海道電力に売る。

仮想通貨規制 導入案を了承

金融審

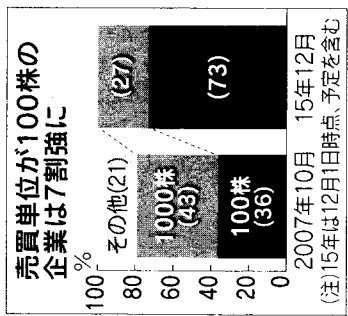
金融庁は17日の仮想通貨に関する金融審議会(首相の諮問機関)で国内で初めて導入する規制案について了承を得た。経営者の逮捕に発展

した「マウントゴックス事件」を踏まえ、仮想通貨の取引所を登録制にすることが柱になる。金融庁は来年の通常国会で資金決済法の改正案を提出する予定で、仮想通貨を「モノ」ではなく「通貨」の類似商品として扱う。

売買単位、100株に統一

日経 12/18 日

東京証券取引所などは17日、2018年10月までに上場企業の株式の売買単位を100株に統一する方針を表明した。現在は100株と1000株の2種類



で、1000株の企業に移行を促す。実現すれば最低投資額が下がり、少額の人マネーなど投資家の裾野拡大につながりそうだ。東証によると現在、売買単位が100株の企業は日立製作所や三菱地所など約990社ある。例えば17日終値でみた日立の最低投資額は70万円強。単純に100株に移行すれば7万円強で買えるようになる。企業が売買単位を引き下げると株主の増加に伴う事務負担の増加も想定される。移行しない企業への罰則はないが、「投資のわかりやすさを高めるため、協力をお願いしたい」(東証)

東証など18年10月までに 最低投資額を引き下げ

00株の企業は日立製作所として。取引所側は移行に関する企業の取り組みをサポートする考えだ。東証などは07年11月、取引ルールの簡素化などを狙い行動計画を策定。当時8種類あった売買単位を種類に集約し、最終的には100株だけにしよう企業に呼びかけてきた。100株の企業は直近で全体の約73%と計画策定直前の07年10月(約36%)から倍増している。

ベトナム簿記普及推進協議会理事長 大武 健一郎



たしかに漢字は表意文字なので、「防水」と書かれていたら、雨にぬれて

フィリピンを3年ぶりに訪れた。マニラ市街は、11月に首脳会議が開催されたアジア太平洋経済協力会議(APEC)に向けて建設していた高速道路がまだ完成しておらず、道路は工事で大混雑していた。郊外の大ショッピングモールも見学したが、ユニクロを出店しているファーストリテイリングの幹部から次のような話を聞いた。「当社の衣料は防寒や撥水(はっすい)などの機能性を持っていることが特色だが、中国、台湾、韓国などの漢字文化圏での売れ行きがいい。詳しく聞いてみると、「防寒」「防水」「撥水」といった漢字によって、機能を一目で理解できることが背景にあるようだという。



日本語の持つ大きな力

2015. 12. 12

も水がしみこまないことがすぐに理解できる。英語の場合、単語を並べて機能を説明する必要がある。だから英語文化圏では、ロゴマークやシンボルマークが発達したのかもしれない。漢字仮名交じりの日本語について、漢字の種類が多さを知って驚く外国人は珍しくない。一見難しそうに思えるが、仮名文字だけなら覚えることは難しくない。私が簿記を教えているベトナムの学生たちも、仮名文字を覚えるところから日本語に親しんでいる。日本は江戸時代の頃から、識字率がきわめて高い国だといわれているが、ひらがなの存在が大きいだろう。意図を正確に伝えるには、漢字が必要になっていくが、難しい漢字でも、ふりがなをふれば、日本語の初心者でも読むことができる。アジアで日本語を教えていると、日本語の持つ力にあらためて気づかされる。日本製品や日本で生まれたサービスなどを伝えると同時に、日本語の良さも伝えていきたい。

毎日 12/12

政治アナリスト

横江 公美



思うのではないかと、選択肢を手に入れたとらえてほしい。英語がいくら

大阪大学で開かれた「キャリア形成とグローバル化」をテーマにしたシンポジウムに参加した。議論は英語で進められたのだが、1人の日本人大学生が「私は日本に来る留学生は日本語で勉強すべきだと思う。しかし、今日のシンポジウムは英語であり、大学の授業でも英語が増えている」と発言した。文部科学省は大学のグローバル化を進めており、実際、英語での授業も増えている。この学生は、「英語万能主義」といえるような流れに対して多くの人の懸念を代弁しているといえるだろう。大学はかつて、日本語で専門性を深める場所だったが、今では、世界で働くことを念頭に英語の授業が増えた。学生は英語を押しつけられたと



英語とのつきあい方

2015. 12. 17 マ

話せてもコミュニケーション能力が低い人もいれば、ただたどしい英語を使いこなして、自分の意思を上手に伝えていく人もいる。私の経験から、英語を話す時に大切なことは二つある。一つは、話し相手が興味を持ちそうな日本の歴史や経済、伝統文化や最近の流行などについて、説明できるだけの知識を持つことだ。米国ではパーティーに出席する機会が多く、こうした話題はとて盛上がり、相手との距離を縮めることができた。もう一つは、自分の立場を明確にすることだ。そうしなければ、相手に不安を与え、信用されないことがあると身をもって経験した。「英語万能主義」のような考え方には私も反対だ。英語はコミュニケーションの道具に過ぎず、日本人全員が英語を話せるようになる必要もない。ただ、グローバル化に対応して、世界の人たちとやりとりする上で、英語が最も使いやすい道具であることに変わりはない。要はうまくつきあうことだろう。

毎日 12/17

我が輩は就活生である。見込みはまだない。就職活動の解禁時期がいきなり早まったので、先輩の経験談を当てにするわけには参らぬ。政財界の偉い人たちが決めたことだから仕方がないが、大迷惑だ。

つまるところ大学生とは学問精進を本旨にすべきだと心得る。しかるに、専門科目の入り口に立った2年次後半から、同級生は就活本を買いあさる。

ゼミや講義の出席度合いも怪しくなる。そもそも大学側にすら授業より就活優先、のムードが醸成されておる。フランス国中世詩をじっくり考究し、4年生の

夏休みあたりから職業研究をしてみようかと思ってる我が輩など、はなから負け組である。

大学教育の在り方は、我が輩が幼稚園の頃から騒がれてきた。研究と教育のいづれを重視するか、グロー

大機小機

バル化か地域特化か、基礎学問かスキル教育か、文部科学省は一生懸命、検討を続け、識者諸氏もさまざまに知恵を開陳しているが、いまだ方向性は見えぬ。というより混乱している。文系はいいらない、とばかりの方針は、教養など不要

若者に基礎力養成の時間を

だ、といわれたのと同断である。文学など趣味でやれ、とおっしゃるのか。我が輩は傷ついた。

財界諸氏は我が輩たちにもっと大学生生活に専念させてほしい。財界の要請は大学入試が終わった途端に就職準備に入れ、と言っているのに等しい。4年制の大学なのに実質2年のキャンパス生活である。大学の短大化を強いている。

文学が就職に勝るなどと申してはいない。高度職業人を育成するには、基礎として高度な教養が必要だと強調したいのである。それにどんな一流大学でも、職業教育はプロ集団の会社に

かなうわけがない。

法経商学部以外の出身者にも多くの立派な経営者はおられる。大学は優れた職業人になるべき基礎体力を身につけさせる場だと心得ていただきたい。

少子高齢化が深刻なことも承知する。一時しのぎの策は通用しない。根本的な解決には、我が輩たちにつくりと人間力を養う青春時代を与えることだ。朝令暮改の大人社会を見せつけられたら、若人はこの国の未来を信じられなくなる。

机上には卒論テーマと就職雑誌、それに年金支払い請求書。ため息をつく我が輩である。

(鶴洋)

坂村健の目



11月下旬の英国のテレビ番組「BBC WORLD」で福島県の子どもたちの内部被ばくを測定できるホールボディー（全身）カウンター「ベビースキャン」の測定結果が紹介された。3台が福島の病院に設置され、約2700人の小児、乳幼児を測定した結果、全員から放射性セシウムが検出されなかったという。

この装置は東京大学大学院の早野龍五教授（原子物理学）が中心となって、海外製のホールボディーカウ

ベビースキャン

ンターを改造したもの。うつぶせ姿勢で、不安をあたえずに4分間測定できる。これにより大人用より5

倍以上の感度で測定できるようにした。子どもは体が小さく、また放射性セシウムの自然排出が大人に比べ著しく早い

ため、精度を上げないと意味のあるデータがとれなかったからだ。

実は、一緒に生活する母親のデータから高い精度で子供のデータも推定できる。不検出の結果も予想されており「科学的には不必要」とも言われていた。しかし直接「測れない」とい

うことを「わからないから怖い」と言い換える人たちがいる。いわゆる「悪魔の証明」に対抗するには、全ての場合について地道にデータを積み上げるしかない。

早野先生が偉いのは、母親たちの不安を「科学的に必要ない」と切り捨てず、測れないデータを一つでもなくすために地道に努力していることだ。日本各地でいつも食べているものを食分余計に作って、定期的

に放射線量を測る「陰膳検査」は、東日本大震災前に事業仕分けで止まっていた。それを、給食をベースに復活させるため努力された。福島高校が中心となり、

日本、フランス、ポーランド、ベラルーシの高校生による外部被ばくの測定と比較を行うプロジェクトの指導もしている。

さらに重要なのは、皆が判断するためにデータを測り、単に公開するだけという姿勢を貫いていることだ。陰膳検査でも「やっ

出たら困る」と恐れる役人を押し切って、どんなデータでも出すことが大事と、国に認めさせた。測れなかったデータを測るため装置の工夫をし、結果を脚色なく公開するというのは、実験物理の基本だが、科学者も人の子、予断を排除するのは難しい。しかし、この

問題では公正さの担保こそ「悪魔の証明」を求める人たちに対峙する科学の側の唯一の武器。だからこそ予断のないデータ公開の姿勢を貫いている。

しかし、発表姿勢としては弱いのか、ベビースキャンの結果も日本では10月初めに発表されたのに、残念なことに取り上げた日本メディアは非常に少なかった。事態がわからないときに、非常ベルを鳴らすのはマスコミの立派な役割。しかし、状況が見えてきたら解除のアナウンスを同じボリュームで流すべきだ。大震災から5年近く。早野先生を含む多くの方々の地道な努力で、データは着実に積み上がっている。

(東大教授)

|| 次回は来年1月21日

わが国の安全保障の在り方を考えようとする動きが日米両国の政界にちらほら見え始めた頃から、気にかかっていることがある。変える変えないに関わらず、国家の安全を「保障」する態勢を整えるのなら、その戦略はどう在るべきか。

戦略とは「戦い」を「略すこと」とも読める。ならば、どう戦つかではなく、どう戦わないかを考えねばなるまい。ゆえに、いかにして敵を作らぬかを究めるのが、至高な戦略思考であろう。国家安全保障の戦略ならば、なほさらのことだ。

届国中に各界の指導者的立場にある方に会う機会があると、必ずこの考えを試してみる。外交にも軍事にも明らかに疎いエコノミストの言うことだから、たいして「理論上は正解だが、非現実的だね」と一笑に

スイスの「無敵な力」

付されるのが落ちだ。それがかえって至高な安全保障戦略を夢みる糧になるのだから、たちが悪い。しかし、千代に八千代に永く平和を保つための戦略に、他の考え方があるとはどうしても思えないのだ。

幸い、そんな私を笑わないう友が一人いる。19世紀初期から永世中立を守ってきた

た平和国スイスの高貴だから、笑わないのは当然で、真剣に議論相手になってくれる。彼は「敵を作らぬ戦略は、すなわち無敵な力をつける戦略だ」と力説する。味方を増やす外交姿勢と取り違えたら、どこかに必ず敵を作ってしまうから危ないと警告もする。

スイス人は、自分の国を「小さな山国」と称してはばからない。狭小伊豆九州諸国に陸封された九州ほどの領土に、大阪府を下回る人口が住む国だ。しかし、国民皆兵を基本方針とした精強な軍隊を誇る国で、道路や橋など多くのインフラにさまざまな防衛設備を施し、国全体が要塞ときえ言われる。スイスは「無敵な

力」を軍に見るのかと聞いたら、それを非現実的だと大笑いされた。国民は、有事の際には集士作戦さえ覚悟するが、武力はあらゆる策を使い果たした最後の自衛手段だと笑った。

スイス国防戦略の無敵な力は「抑止力」だぞうだ。スイスを侵略すれば大損害だけだという状態を、国のあらゆる政策を駆使して

教育通して抑止力



一写真家、鈴木慶子さん撮影

包括的に作り上げ、国際社会の変動に対応しつつ維持することで、戦争を未然に防ぐ力をつけるのだ。

国連諸機関をはじめ多くの国際機構を戦前から積極的に誘致してきたのは、この戦略の一環だったのかと驚いた。グローバル金融発祥の地という説もあったと思いついたら、スイスのさまざまな経済政策が、抑止

育成

力を軸に回り始めた。一例を挙げると、近年まで顧客情報を極秘扱いとして、内外税務当局などにも絶対明かさないう姿勢を貫いてきたプライベートバンクの発展も、抑止力を成す駒の一つだろう。それを可能にした背景には、金融部門全体の堅実な成長や、

保守的なマクロ政策、高度な国際信用などがあった。次から次へと思いつく経済政策の全てが、国防戦略の一環だろうと想像をきいて目が回りそうになった。

「すごい国だ」と仰天する私に苦笑し、「頑固」徹が国民性のスイス人が、本気になったからだ」と平然と言ふ友に、また仰天した。たった一度でも国外で武力を使えば、長年苦労して培ってきた抑止力が元も子もなくなる。だから「命がけで当たり前」のことでしてきただけ」だぞうだ。ちなみに、スイスが国連平和維持活動(PKO)に積極的に派兵する一方、人道支援のみに徹する姿勢を崩さない訳も、ここにある。

しかし、最も重要な政策は教育だと、彼は言い切った。永続しない平和は平和

ではない。抑止力の持続的育成を可能にするのは、常に100年先を見据える国民教育。文系理系双方の学問から幅広くかつ総合的に教養を高め、平和を尊ぶ歴史観を養い、鋭敏な判断力を育み、信念を持って行動するリーダーシップ精神を持つ民であってほしい。その上で、スイス人に生まれながら、永世中立国家の岩になると熱弁する友の目に、光るものがあった。

小国にふさわしい武力に頼らぬ戦略と言えば、それまでだろう。しかし、武神武田信玄の戦略「勝利の礎(一人は城、人は石垣、人は城、情けは味方、仇は敵なり)」に通じる思考だと、感じ入った。

わが国のぶがいない安全保障の在り方に、彼岸の信玄公の憂いやいかに……。

毎週日曜日に掲載<語学> 2015.11.22 作家・石飛博光氏

アルバイトで強くなれた

高校生 岡田 萌亜 17 (大阪府藤井寺市)

私は高校1年生の時からスーパーマーケットのアルバイトを始めた。感じたことはたくさんあるが、一番はアルバイトをして良かったという事だ。

そのアルバイトを始めるまで、私は買い物をした際、「ありがとう」としつ係の人にあまり言わなかった。だが、実際に働く側になってみたら、「ありがとう」と声をかけてもらえる

ことが美にうれしいことばかり、私も言えるようになった。また、精神的にも体力的にも強くなれたと実感する。お金を自分で稼ぐという事の難しさや、両親の大変さが本当に分かり、自分のことは自分でしようという意識も高くなった。社会人になる前に少しでも社会の事を知ることができ、気付かれないことも多い。目上の方

のコミュニケーションも以前よりとれるようになった。

楽しいばかりではないけれど、笑顔で「ありがとう」と言ってもらえるこのアルバイトを始めて良かったとあらためて思う。

ふんた塔

心記事

テロが付け加わった

—東京五輪

(神奈川・アノ手巨人)

毎日 11/28

2020/12/17

高校生の投稿に元気もらった

主婦 水野 美那子 82 (広島県呉市)

高校生の投稿「アルバイトで強くなれた」を読んで、とてもすがすがしく感じ、応援したくなった。

働く側になってみたら、お婆さんからの「ありがとう」がとってもらえなかったことから、自分も「ありがとう」が言えるようになったとあり、楽しく読ませてもらった。また、自分

でお金を稼ぐことで両親の大変さも分かり、得たものは大きいようだ。

私も初めて商店の手伝いをした時、「ありがとうございました」の一言が言えなかったことを思い出した。「品物をあげて対価をもらうのに、どうしてこちらだけお礼を言わないか」と聞くと、「これからも立ち寄ってくださいね、という心のつながりになるよ」と教えられた。この投稿を読み、私ももっと店員さんに「ありがとう」と言おうと思った。文章が明るく前向きで、82歳の私も大きな元気もらった。

毎日 12/17